

令和3年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 みどりの風	代表者	小島 健一	法人・事業所の特徴	住み慣れた地域でご利用者がいつまでも生活ができるように、通い・泊り・訪問を柔軟に組み合わせて支援しています。「日和」の周辺には田んぼや畑が多く直売所も近くにありご利用者と職員と一緒に利用するなど、地域の方とのつながりが持てるようにしています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 日和（緑区）	管理者	代永 美菜		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	1人	人	1人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	前回の実施なし。	前回の実施ないため評価なし。	業務の中で項目の多い評価に取り組みお疲れ様でした。現在出来ていないことを把握したうえで改善に繋げられる計画になっていると思います。まずはできそうなことから一つずつ実行していきましょう。	自己評価で上がった問題点を解決できるようにミーティング等で話合う機会を2か月に1回行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	前回の実施なし。	前回の実施ないため評価なし。	会議に参加する度に雰囲気が良いことを感じています。通りから奥まっているので静かで、施設内の臭いなどなく清潔感があります。一般の人からは場所が分かりにくいのでわかりやすい目印があったらよいと思う。	事業所の存在を近隣の方にも分かりやすく、見つけやすいように目印を設置する。
C. 事業所と地域のかかわり	前回の実施なし。	前回の実施ないため評価なし。	コロナ禍になってから、地域に出向くことが難しい状況だが、サロンが再開したので、職員だけの参加も可能なので、サロン参加者と事業所とのつながりを作っても良いと思う。	感染予防をしながら、サロン等地域の方との関わりを持ち、地域の方と互いに支え合える関係性を作れるように務める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	前回の実施なし。	前回の実施ないため評価なし。	コロナ禍ではあるが散歩や直売所など近所を歩いているときに、服装や表情、異臭など気になる高齢者がいたら気にかけて欲しい。必要があれば包括支援センター等へ連絡してつなげたり、サービスに繋がらなくても「日和」に相談したらどうにかしてくれると思われ場所になって欲しい。	ご利用者個々の隣人、知人や住まわれている地域の情報など収集して活用していく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>前回の実施なし。</p>	<p>前回の実施ないため評価なし。</p>	<p>地域の活動について運営推進会議でお知らせしていたが、コロナ禍のため行事が中止になることが多く、今後再開することがあれば、都度連絡をします。近所に住む高齢者で気になる行動をしている方がいたが、民生委員の方や包括支援センターの方と情報を共有して見守りしながら必要があれば、関係機関につなげてほしい。</p>	<p>運営推進会議に参加して下さる方の情報から事業所で地域のために出来る事を探し、実行する。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>前回の実施ない。</p>	<p>前回の実施ないため評価なし。</p>	<p>コロナ禍以前は地域の消防訓練に参加して、消火器やAEDの使用方法など指導していただいたが、現在は事業所での訓練になっていることについて、感染症が落ち着いたら、消防団の方へ「日和」へ来てもらい実際の訓練をしながら指導をしてもらおうと思う。</p>	<p>災害時の食料や衛生用品について少しずつ増やしていき、地域の方が災害時に避難できる環境を整える。</p>